

健康管理上の注意点(デング熱)



国立国際医療研究センター トラベルクリニック/感染症内科
TEL 03-3202-7181(代表) 03-3202-1012(クリニック直通)

次の外来診療日: 月 日 時

どんな病気?

- 病気の原因は「デングウイルス」です。
- 蚊にさされてなりますが、さされたことを覚えていない方もいます。
- 血液の中でウイルスが増えているときに熱が出ます。その患者さんを刺した蚊が原因です。
★このため体調がわるいときに「蚊にさせないようにする」ことも大切です。
- 水分をとれない・熱が続く・頭が痛い・出血しやすい状態の方には入院をおすすめしています。

どんな症状?いつごろ治るの?

- もっとも多い症状は「高熱」で、4～5日間続くことがあります。その後2～3日で下がります。
- 高熱以外では、頭痛、目の奥の痛み、などの症状を経験する人がいます。これらは自然に治ります。
- 外来の診療で問題ない人もいますが、入院をおすすめする場合もあります。
- 熱がさがり、回復した後も、「だるさ」などの症状が数週間続く人がいます。

診察後、自宅に帰る場合の注意点

- 外来のときは元気でも、自宅にもどってからだんだん体調が悪くなる場合があります。
- つらい症状はがまんせず、いつでも受診をしてください。(夜間や週末は救急外来)
- 入院をせずに様子を見るために、外来でまめに血液検査をすることが必要です。医師と確認しましょう。
- 発熱などの症状がある期間は自宅で安静にし、大勢の人がいる場所への外出は避けましょう。
- 自宅では水分を十分とるようにしてください。
- 解熱剤(ねつさまし)を使うときは「アセトアミノフェン」(タイレノール、カロナールなど)を選んでください。
★飲んではいけないくすり:ロキソニン、パファリン、ボルタレン、ブルフェンなど

[次のような症状の場合はすぐに受診をしましょう] まずは電話を。

- 水分をとることがむずかしい。
- 鼻血、歯ぐきの出血、便に血がまじる、生理の出血が止まらない、腹痛、たちくらみ、内出血
- 熱はさがってきたが、息(呼吸)が苦しい。

経過はおおよその目安です。
症状は個人差があります。

